

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	超高齢者胃癌手術症例89例の検討
研究責任者	胃・食道外科 風間義弘
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	胃癌の高齢化が進行しています。しかし、85歳以上のいわゆる超高齢者の胃癌についてはあまり検討されていません。今回は超高齢者の胃癌について検討することを目的とした研究を行います。超高齢者の胃癌の特徴を把握することで、今後の治療に有効であると考えています。
研究方法	2005年8月1日から2019年8月31日までに当センターにて手術を施行した85歳以上の胃癌89症例について検討を行います。まず、手術症例89例の臨床病理学的特徴を調べます。次に性別、BMI、術前血清アルブミン値、手術時間、出血量、術後合併症、進行度がどの程度生存に影響を与えるか単変量解析を行います。ある程度影響を与える因子について、時間の経過で発生する「転倒あり、転倒なし」、「歩行可能、歩行不可能」などのイベントに対して調査した複数の項目に何が影響するかを統計的に調べる多変量解析を行います。 なお、本研究は学会、論文などで公表される可能性があります。個人が特定されることはございません。本研究への参加を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加を希望されなくても不利益を被ることはございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 胃・食道外科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：風間義弘 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604